

## 平成 29 年度 第5回消防力強化のための勉強会の概要

日 時:平成 30 年1月19日(金) 午後3時30分～5時30分

場 所:大阪府庁危機管理センターB

### 《主な意見》

(○消防本部・市町村危機管理部局の発言、●座長の発言、⇒事務局の応答)

#### ◆広域化について(資料1、資料2)

○資料1の右の表で、本部機能の集約の「▲245人」の下の「(15億/年)」とあるのは、金額の効果か。

⇒あくまで概算であるが、平成27年の統計データでの一人当たり給与費630万円を245人に掛け合わせたもの。昨年度の取りまとめでも、同様に人件費換算している。

○本部機能を集約化して現場に人員を投入するのであれば、効果額として15億円と記載するのは如何かと思う。実際に15億円減らすことができるとうけとめられかねない。

⇒消防力強化の切り口で考えており、ストックを有効活用するという観点で、10ブロックであれば現場増強人員として、その245人の現場活用の例示として、部隊の専任化などを記載する形で整理している。

⇒15億というのは、現場増強のために245人を新たに雇おうと思えば、年間15億の費用が発生するが、今回は本部機能を集約化することで、同じだけの効果が出てくるということ。

○その金額を減らすことができると見られてしまうのが怖い。

○現場到着時間の話あったが、これは車両の増とか部隊の増を加味しての計算ではなく、現状の人員と車両を前提として計算しているのか。

⇒そのとおり。現状の行政界を解消するだけで、これだけの時間短縮を図れるというもの。

○今の状態で、これだけ短縮を図れるということであれば、やはり15億分は削減のほうに回されそうな気がする。今回は10, 8, 1ブロックだが、もっと小さい範囲で考えた時に、3つの市が合併したとして、到着時間が短縮し、人が浮くと言う資料になりますね。現状のままでも一緒になったら、早く到着できて、本部は集約できてお金は減りますよと。市民目線で見たら、何も変わらない状態で、15億分を浮かすことができるという話になるのではないか。

⇒我々としては、あくまでも消防力強化であり、現場に15億円分のマンパワーを充てたいという主旨。

○消防メインで考えたらそういう考えになるが、オール市町村で考えたら、市に対する行革メリットに着目されるかもしれない。どうしても行革重視になるだろう。

⇒現場の増強を含めて対応策として出している。

○市民サービスを低下せずこれだけ浮くのたとの見方ができる。そこは使い方気を付けないと。

### ◆水平連携について(資料3)

⇒(資料内容説明の後、事務局から補足説明)

2点補足したい。これまで1月の市長会・町村長会で取りまとめの報告をすると申し上げてきたが、今回、広域化・水平連携とも首長さんの思いが色々ある中で、関係方面と協議した結果、1月の市長会・町村長会での説明は見送らせていただいた。2月に当室主催で消防本部及び危機管理部局の担当課長会議を開くので、そこでご説明を申し上げたい。メールではご報告させていただいたが、報告が遅れたこととお詫び申し上げる。

もう一点、水平連携の「特殊救助災害に対する新たな部隊の創設」について、訓練費用の来年度当初予算要求を考えていたが、10月から11月にかけて、私どもで各消防本部の消防長や幹部の皆さんのところに個別に回らせていただき、直接ご意見を聴かせていただいたが、この部隊創設に関しては賛否があった。「部隊創設は不要」といったご意見や、「相互応援協定があるので、これを一部改善したらいい」とか、小規模本部では「受援はよいが応援は無理」などの意見もあった。そうした意見がある一方で、「予めユニット化をしておくことで、自本部で保有しない資機材を持った部隊が応援に来てくれる安心感がある」、「予め決めておくことがテロ災害等に非常に有用であるので実現してほしい」などの意見もあった。

しかしながら、首長も含めて、特に新聞報道が出た関係もあり、「消防は市町村」という話もあり賛否があったため、予算をつけて強引にいくのではなく、今しばらく継続した議論が必要という判断に至り、予算要求は見送った。引き続き、水平連携については、議論をしていきたい。以上2点ご報告させていただく。

○水平連携の検討状況の取りまとめとして、資料3の1頁目に「29年度勉強会の到達点」と記載されているが、あと1回くらい開催するのか。

⇒水平連携の各取組については、これからアンケート調査をするので、その結果については一定集約したいと思っている。

○これ見ると「検討」とか「検討中」、「集約予定」となっているが、検討のまま閉じるのか、何かの結果を出そうとしているのか。なんとなくこのまま合意に至らなかったという形で流すイメージに見えてしまう。

もう一点。特殊救助部隊の件で、聞き取りに回られたということだが、手順が逆だったのではないと思う。8月の時点では、たたき台として8つの案をあげて、今から検討していこうという段階。あくまで皆さんの検討材料としてあげたもので、本来は、じっくり考えていけないといけなかったと思う。だからワーキングに任せてくださいと言ったつもり。いいところ悪いところを見ながら、消防としてどういうものがいいのか、じっくり話しあって、それと並行して府の方で予算を検討いただくとしたら、それをやっていって、本来なら1月位に市長会・町村長会に上げていくようなものを、8月に上げてしまった。新聞にどこから出たか分からないが、あの時点で先にイメージを出してしまったが故に、消防の中でも、ちょっと不信感が走った。消防の中に意思疎通、意見が作ろうという気にならなかった。府も予算要求しないと、ちょっと違う気がする。

⇒8月に市長会・町村長会に出したということについては、あくまで「8月に広域化と水平連携の検討状況について中間報告をさせていただく」と、この勉強会の場でも年度当初からご説明し、各消防

長にも 8 月の中旬に資料の事前説明に回らせていただいた。なので、手順が違うというのは話が違ふ。我々は手順を踏んで、事前にご説明もさせて頂いている。

○私からみれば手順が逆。

⇒8 月の新聞報道以来、何度も報道に関し苦言を言われているが、府が出した、出さないという話でなく、町村長会が終わってから報道されている。出ても問題はなく、事前に説明しに行っている。報道がされたからといって議論を止めるとか、報道されなかったから進めるものではないはず。

○勉強会で皆さんいろいろ言われ、結局、意見も聞くといわれたが、府の方で全部、前へ進めてきたのではないか。

⇒我々も皆さんに丁寧に、各本部に説明してきた。我々も財政も知事も含めて、みんな予算要求の議論もしていたが、真に「この部隊創設が必要だ」ということが皆さんの思いとして浸透していなかった。

○前回 9 月から勉強会もワーキングも開かれず、検討する場がなかった。

⇒各本部の真意を確かめるべく、個別に説明に行っていた。

○説明に行ったかもしれないが、府としては府下消防長会にバトンタッチしたいということを考えていたはず。検討しながら府下消防長会で一定あげていこうかなという用意はしていたが、勉強会が開催されなければ議論が進まないではないか。

⇒消防長会に上げる用意をしていたという主張は違ふ。報道が出て以降、府がアプローチかけても、報道されたことへの不信感に終始し、勉強会では中身の議論をさせてもらえなかったはず。われわれは臨時の消防長会で話を上げさせてほしいとお願いしたはず。

○あの段階で、何の話もしてないのに、いきなり臨時総会なんて決められない。

⇒我々は、府下消防長会で審議できるように、各消防長にご説明に伺っている。でも実態は、部長がおっしゃるように、賛成が得られる状態でないから、我々として、継続議論をしたいという話。

○一定消防としての考え方をまとめていくというのが、ワーキングだったはず。府はそれを閉じてしまった。

⇒議論はすべき。ただ、我々が閉じたとか、何もしていないというのは違ふ。我々は各消防本部さんに説明させていただき、現段階では賛否がある。この賛否のある状態で、予算要求はできないと判断したので、引き続き継続議論させていただきたいというのが我々の意向。

○今回、市長会の説明を見送り、消防の担当課長へ説明するとなったが、最終的に市長会とか町村長会に報告していく方向にあるのか。

⇒市長会から要望があれば行くし、我々からタイミングを計ってという場合も考えている。1 月の市長会・町村長会を目標に、これを出すつもりで動いていたが、関係方面と調整の結果、出さないこととなった。

○今日も話を聞いて、方向性が少し変わったのかと・・・。

⇒予算要求でいろいろ調整もしていたが、いま一度、皆さん 27 本部の声を重視し、もう少し話を煮詰めることとなった。

●今、消防・事務局の双方の考え方も説明させてもらって、それぞれ意見がある中で、事務局としては、先ほどご説明した内容と、これまでのいきさつの経過があったということ。この後、広域化と水平連携の今後の進め方について、説明させていただくので、まずは水平連携の取りまとめの内容について、確認してほしい。

○ワーキングは続けていくのか。

⇒消防本部にアンケート調査を実施予定であり、あと一回は行って、結果をご報告をさせていただく予定。アンケート調査は皆さんの消防本部の意見を聞いて、特に、特殊車両とか、指令台の共有とか人事交流とか、詳細レベルでご意向を聞けてないので、そこはしっかり聞かないと思っている。それを踏まえて取りまとめをしたい。

○事前に意向を聞いて回ると、反対があったらダメになっていく感じがする。

⇒いかないですよ。個別に消防長と話をすると、皆さんの真意がわかる。

○必要という消防本部もあるのか。

⇒ある。

○消防本部が実施したい項目があった場合、どうコーディネートしていくのか。

⇒まずはニーズをアンケートで聞きたい。

○取組によっては実現させたい消防本部もあると思う。これを機会に指令台の共同運用も進む可能性もあるし、良い話だと思う。

●それぞれ水平連携の取組については、消防本部の皆さんがやろうというなら進めていく。進め方はいろいろな手法がある。

○アンケートの結果で反対が多かったとしても、項目によって必要なところには手上げ方式でもできる。

⇒はしご車の共同運用などの面で、NOX 規制によって、現有するはしご車が使用できなくなるなど、個別具体的に困っておられる消防本部はあるので、そこは受け止めてサポートすべきだと思っている。

○府のサポートよろしく

#### ◆今後の進め方について(資料4)

○勉強会は来年度も続けるのか。

⇒広域化については、我々が責任を持って消防広域化推進計画を改訂していく。水平連携については、市町村さんの取組の調査とかは我々で行うので、それをもとに基本的にそれぞれのステージで議論してもらえたらと思っており、勉強会は閉じる。

●事務局案としては、今の時点の取りまとめという形でまとめて、勉強会としては一応そこで終了。

その上で、広域化は消防広域化計画の改訂の中で審議会の方のステージで議論をしていきたい。水平連携は、実際に取組をすすめられる消防本部さんと相談させていただいて、どういう形でどういう主体でやっていくかを議論させていただいて、この項目を継続検討していくなら継続の形になるし、大阪府もサポートすると言うのが事務局案。

⇒誤解のないように申し上げると、この勉強会を閉じるから水平連携の項目は知らないと言っているのではなく、それぞれの項目を具体化するために、それぞれ違うステージでやりたいということ。それぞれの取組みに相応しい場で検討したい。

○水平連携のワーキングも閉じるのか。

⇒今年度で閉じたい。

○勉強会でやった成果は。

⇒今回の取りまとめ案を 29 年度までの到達点としてまとめたい。

○終わり方は、それで良い、異論はない。

⇒広域化についても、これを勉強会の取りまとめということで思っている。

○広域化は、この勉強会で話を続けても難しい。広域化の自主的な取組みを小さくやっているところもあるので、できるところはやっていったらよい。あとは水平連携で、勉強会ではなく、新たな場所で検討していく。最終的には府下消防長会へもあげていってもいいだろうし、別途検討委員会を設けてもいいし、その方向で話をしたらどうか。

●特に水平連携は、具体化できる方法を教えて欲しい。今すぐ府下消防長会も無理だとお聞きしているんで、止めるのではなくて、それぞれで検討していこうというのを来年度以降やっていくべき。

○緊急消防援助隊出動時の府職員の同行の話はどうか。

⇒緊急消防援助隊に関しては、当座の活動資金 100 万を確保し、緊急消防援助隊大阪府大隊に帯同していく方向で進めさせていただきたい。

○消防広域化推進計画の改訂を予定しているのか。

⇒国の広域化基本指針が平成 18 年に出て 10 年が経過するということで、国が近く各都道府県に対して見直しを促す通知をだすと聞いている。それを踏まえて府としても検討しなければならない

が、今回の検討結果も踏まえながら、来年度に新たな広域化計画をもう一度考える形になると思う。

●これ以上ご意見なければ、消防力強化の広域化と水平連携についての今回の資料で、勉強会のとりまとめということで、水平連携はアンケートを踏まえてもう一回で、取りまとめるということでよろしいか。

⇒広域化については、今日いきなり 20 ページの資料を出したので、中々ご意見等も言えなかったこともあると思う。資料の一番下に「取りまとめに関する意見照会」を入れている。来週末日途中で広域化と水平連携のとりまとめ案に対して、なにかご意見ご質問等あれば、記入して送っていただきたい。必要に応じ、とりまとめ案の方に反映させなければいけないとあれば、反映させるという形で考えている。

●とりまとめはこれでよろしいか。

○最終の成案はどうなりますか。

⇒今回のご意見を踏まえて、最終案とする。この内容について、本当に必要であれば追加で書き込む。今回の資料は消防防災科学センターの方で試算した結果ということになるので、それは尊重する。

●本日の勉強会資料を全消防本部と危機管理部局の方に、送らせて頂き、大阪府のHP に掲載するという、いつもと同じ形で行う。

⇒週明けには、全消防本部へお送りし、同時にHP に上げる。また議事録については、メンバーにご確認いただき、後日掲載する。

○資料を送って頂いてから、HP に掲載までにタイムラグはありますか。

⇒送付と同時に掲載。